

活動ニツイテ田邊委員外數氏カラ經驗ト意見ガ述ベラレタル後  
農村勞働者ノ問題ニ於テハ、全農ガモツト山村瀕村ニ注意ヲ  
向ケルベキコトガ強調サレタ。

休憩

再會

一、米穀對策ニ關スル決議發表

小委員會

決議

米穀統制法及粃貯藏ヲ以テシタ政府ノ米穀政策ハ、端境期ニ於ケル米價ノ異常ナル昂騰ヲモタラシ、有ガスレトイハレル在米ノ地方的ナラビニ階級的偏在ヲ強メ、サナキダニ深刻ナ窮乏ニ備メル貧農ヲシテ、賣ル時ハ安く買フ時ハ高ク、飯米欠乏ニヨツテ一層ノ苦シミヲナメサセタ。コレヲハ、資本家地主本位ニ立テラレタ米穀政策ガモツ必然ノ歸結チハアルガ、政府ハ一般勤勞農民ニ貧農、勞働者、人口ノ過半ヲ占メルコレヲノ階級層ノタメニ、即

時當面ニ於ケル飯米欠乏ニヨル直接ノ要望ヲ滿タシ、且ツ米穀統制法ノ改正ヲセラル、ヨウ要求ス。

一、窮乏農民ニ對シテ即時政府米ヲ貸出スコト、

一、政府米貸下規定ヲ緩和スルコト、

一、出廻期ト端境期ノ價巾ヲ縮少セシメルコト。

九月六日

全農中央委員會

大西

一、行動綱領草案骨子ニ就テ

休憩中小委員會ヲ開キ、行動綱領トハ何か、ソノ内容ト形式、原案作成方法等ニツイテ協議シタ。行動綱領トハ、一定ノ時代（例ヘバ農業恐慌以後數ヶ年）ニ於ケル行動原則ヲ規定スル、從ツテ内外ニ對スル行動上ノ指針トナルモノデアリ、イハハ農民組合運動ノ歩兵操典デアル。ソノ内容ニハ個々ノ政策トカ要求トカハ含マナイ。政策、要求ハ多カレ少カレ現地的、短期的デ、コレハ大